

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等の  
非公募による指定管理者の選定に係る報告書

令和元年（2019年）11月5日

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等  
指定管理者選定委員会

令和 元年 11月 5日

周防大島町長 椎 木 巧 様

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等  
指定管理者選定委員会  
委員長 河 村 誠 治

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等の  
非公募による指定管理者の選定に係る報告書

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等の指定管理者について、周防大島町公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第6条第1項の規定に基づき、非公募による選定を行い、当委員会における審査の結果、次のとおり優先交渉権者を選定したので、周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等指定管理者選定委員会の組織及び運営に関する要領第2条第4号の規定に基づき報告します。

## 1 選定委員会の開催状況

- 第1回 令和 元年 10月 8日（火）13：30～15：30  
（周防大島町役場大島庁舎 2階庁議室）
  - ・委嘱状交付
  - ・選定委員会委員長・副委員長の選任
  - ・募集要項の説明
  - ・審査方法（審査基準及び配点）の決定
  - ・応募者からの事業計画のヒアリング
  - ・審査及び採点
  - ・優先交渉権者の決定
- 第2回 令和 元年 11月 5日（火）13：30～14：00  
（周防大島町役場大島庁舎 2階庁議室）
  - ・報告書の作成審議
  - ・町長へ報告

## 2 選定の進め方

### （1）選定の手順

審査基準や配点を第1回選定委員会で決定の上、応募者から提出された事業計画書等について、事務局により資格要件、様式及び添付書類等の形式審査並びに申請者からの事業計画等のヒアリングによる内容審査を行い、優先交渉権者を選定することとした。

選定フローは下表のとおり

年 月	選定スケジュール
令和元年 10 月	第 1 回選定委員会（審査方法の決定、申請者のヒアリング、優先交渉権者の決定）
令和元年 11 月	第 2 回選定委員会（町長への報告書作成）
令和元年 12 月	指定管理者の指定議案提出（12 月議会）

## （2） 審査の方法

事業計画書等の審査基準として、周防大島町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第 4 条各号に掲げる 5 つの基準を踏まえ、次のとおり具体的な審査項目等を設定し、それぞれ配点を定めた。

（選定委員 1 名の配点）

審査基準	審査事項	配点
1 利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平等な利用の確保</li> <li>・ 利用増進に向けた方途</li> <li>・ サービス向上に向けた提案</li> <li>・ 利用者ニーズの把握</li> <li>・ トラブルの未然防止策と対処方法</li> <li>・ 地域や関係団体等との連携</li> </ul>	30
2 公の施設の効用を最大限に発揮するものであること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者となる意義や責務の認識 (町の方針、施設の性格、設置目的、業務等の理解度)</li> <li>・ 倫理性や法令遵守</li> </ul>	10
3 公の施設の適正な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の維持管理の内容</li> <li>・ 個人情報の保護の取扱い</li> <li>・ 防犯・災害その他緊急時の危機管理</li> <li>・ 3 ヶ年の収支計画</li> <li>・ 経費縮減へ向けた取り組み</li> <li>・ 指定管理料の額</li> </ul>	50
4 公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員体制や配置人員</li> <li>・ 職員の指導育成、研修体制</li> <li>・ 法人の財務状況</li> <li>・ 施設管理のノウハウ</li> <li>・ 経理の明瞭性、規律性及び情報公開や監査請求への対応</li> </ul>	25
5 その他町長等が別に定める事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レストラン、物販等の町内仕入予定額</li> <li>・ 町内の雇用予定人数</li> <li>・ 類似施設の管理実績</li> <li>・ 事務所の所在地に関する事項</li> <li>・ 長浦スポーツ海浜スクエア及びグリーンステイながうら両施設の連携に関する記載</li> </ul>	35
合 計		150

### 3 審査の状況

申請者の資格や事業計画書等について厳正に審査を行った。

#### (1) 申請者の資格等の適合審査

申請者の資格については、官公署の証明書類との照合等により、申請者が適合していることを確認した。

また、事業計画等についても、募集要項に示した様式に適合し、必要な書類が添付されていることを事務局が確認し、選定委員会に報告した。

#### (2) 事業計画書の審査

申請者から提出された事業計画書及びそのヒアリングを基に、予め決定した審査方法（審査基準及び配点）に基づいて審査（評価）した。

### 4 審査結果

各委員の評価点の集計結果は次表のとおりであり、これを踏まえ、委員会において協議した結果、A 団体・瀬戸内海リゾート株式会社を、指定管理者として適格であると判断し優先交渉権者に選定した。

審査基準	A 団体
1 利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること。	90.00
2 公の施設の効用を最大限に発揮するものであること。	40.00
3 公の施設の適正な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られていること。	182.00
4 公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。	79.00
5 その他町長等が別に定める事項	140.00
合計	531.00

※委員4人の合計で600点満点

### 5 審査の講評

選定委員会において審査の内容等について、次のとおり協議・検討を行った。

#### (1) 総評

非公募による申請者である A 団体について審査を行った結果、引き続き指定管理者として適格であると判断し優先交渉権者に選定した。当団体は、本施設を長年管理し今後も安定した管理運営を続けていく能力を備えているが、財務状況はあまり良好とは言えず、合宿等宿泊客頼みの経営では限界があるため、今後はインバウンドの取り組みや、レストランや物販の売上増に力点を置き、更なる集客力の向上を期待する。

(2) 委員会における主な評価、意見

- ① 収支計画にもあるように、スポーツ合宿による宿泊客中心の経営方針となっているが、それでは限界があるため、インバウンド観光客の集客にも取り組み、レストランや物販収入等を増やし競争力を高めていく必要がある。
- ② 年々施設の管理状況は良くなってきているので、今後もレストランや風呂、駐車場等の安全対策、施設の細かな部分へ配慮をした維持管理をお願いしたい。

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等指定管理者選定委員会委員

区 分	氏 名	役 職
委員長	河 村 誠 治	山口大学経済学部 観光政策学科教授
副委員長	有 吉 祥 男	有吉司法書士事務所 所長（司法書士）
委 員	大 原 秀 三	公認会計士・税理士
委 員	岡 村 春 雄	周防大島町副町長